

TOYO UNIVERSITY FESTIVAL REPORT 2021

東洋大学 大学祭レポート 2021

昨年に続きオンラインで行った東洋大学の大学祭。
今年はどうのように準備をして開催したのか、4キャンパスの大学祭実行委員長の座談会の様子をレポートします。

今年もオンラインによる開催が6月に決定して…

白山祭実行委員長 吉田さん 新型コロナウイルス感染症が依然収まらないなか、大学祭実行委員として学生生活やその先の未来に笑顔や希望をもたらす何かができないかと模索する毎日でした。6月に今年もオンラインでの開催に舵を切ることになりましたね。

INIAD-FES実行委員長 松岡さん 情報系の学部で学ぶ私たちは対面・オンラインのどちらでも開催できるように準備を進めていました。昨年もITの力を駆使してバーチャル上にキャンパスを再現して遊びに来てもらうコンテンツを用意しましたが、今年はいよいよ「体験」を意識した大学祭にしたいと思っていました。

WELLB-FES実行委員長 松本さん 昨年もオンラインで開催していたので心構えはできていましたが、やはり対面でできないことは正直残念で…。4月に赤羽台キャンパスに移転してきたばかりだからこそ、新しく出会う人たちと直接交流ができる場にしたいですね。

こもれび祭実行委員長 橋本さん 川越キャンパスは昨年は中止となり、今年が初めてのオンライン開催でした。昨年のノウハウがない分、不安な気持ちは大きかったです。しかし、今後こもれび祭を続けていくために私たちが基盤を作らなければと意気込んで臨みました。

昨年の経験を生かして引き継いだもの、見直したもの

橋本さん 私たちは初めてだったので、何



▲生配信のリハーサル(白山祭)

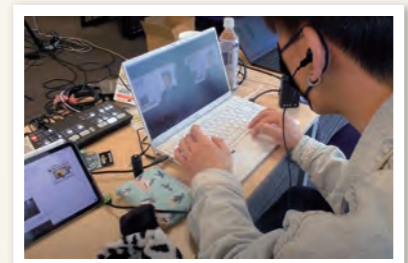
から手をつければいいのか戸惑いました。スケジュールの立て方や当日の動き方、準備や進捗の確認や感染予防対策など心配事は尽きませんでした。皆さんは昨年から変わったことはありませんでしたか。

吉田さん ZoomやLINEを使ったオンライン会議やスケジュール・進捗管理などは使い慣れていたので、昨年よりもスムーズに運営できたと思います。

松岡さん 情報連携学部(INIAD)では基本的にはSlackというビジネス用ツールを使ってコミュニケーションからタスクの確認まで幅広く管理をしていました。授業でも使っているため、うまく活用できたと思います。

松本さん 「とにかく情報共有を！」と先輩からは何度も言われていました。しかしオンライン上だといくら顔が見えていたとしても、感情や大事なものが伝わりきらないと感じていたので、情報共有はいつも丁寧に、そしてメンバーのモチベーションを維持できるよう昨年以上に密なコミュニケーションを心がけていました。

松岡さん 私たちも今年には月に一度、現況を確認する報告会を委員会内で行いました。他にもメンバーがどのような状況か、頻繁に確認してコミュニケーションが途切れないようにしていましたね。

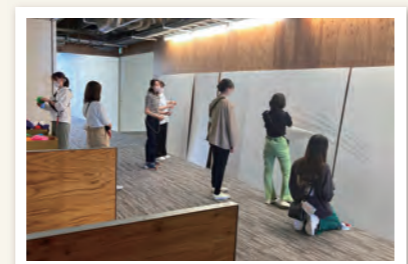


▲動画配信の裏側(INIAD-FES)

橋本さん なるほど。私たちが各局長がすべての状況を把握してこまめに確認しながら、全体との連携もしっかりとれるような体制をとりました。

吉田さん 白山祭では生配信のコンテンツもありました。昨年は生配信中に無音状態や映像のトラブルが起きて対応に時間がかかる場面もあったので、今年はそれを最小限に抑えようと、生配信用のチームを設

置して入念に準備を進めてきました。その結果、トラブルが起きても、一時的に画面を切り替える「蓋絵」を用意することで、昨年の反省点を改善できました。



▲ステージ壁面の装飾作業(WELLB-FES)

オンラインならではの楽しみを生み出すために

橋本さん 昨年の経験がない分、私たちは他大学のオンライン大学祭なども参考にしたりして、どのような企画だと参加者に楽しんでもらえるのかを考えていきました。ライブステージを設営して動画を制作しましたが、リアルタイムでの映像配信まで実現できれば、もっと大学祭の臨場感を楽しんでもらえたかもしれません。

吉田さん 今年は東洋大生と高校生をメインターゲットに企画を構成したのですが、ターゲット層のニーズを把握し、視聴意欲のわく企画を考えるのはやはり難しかったですね。東洋大生以外にも大学の魅力や雰囲気伝わるように企画を何度も練り直して、部活動や留学生との交流企画なども導入してみました。

松本さん 確かに企画のセンスを問われたような気がします。対面とは違い、オンラインでは「何か体験できる」といった部分がどうしても減ってしまいます。そんな状況でもいかに興味をもってもらえる企画を生み出せるかがカギでしたね。

松岡さん 私たちは前回好評だったバーチャルキャンパスを今年も継続しました。映像配信だけではなく、Web上のバーチャルキャンパスを移動しながら、教室に行きながら企画を見ることができると、実際にキャンパスを訪れたような体験をしていただけたと思います。

2021.10.30-31

白山祭 白山キャンパス	INIAD-FES 赤羽台キャンパス 情報連携学部
WELLB-FES 赤羽台キャンパス ライフデザイン学部	こもれび祭 川越キャンパス

※雷祭(板倉キャンパス)は今年度中止となりました。



▲ライブステージの設営(こもれび祭)

2度のオンライン開催で生まれたもの。そして来年に向けて…

松岡さん INIAD-FESは学部での学びを生かしてITの力を駆使した開催が特徴です。私自身Webサイトの構築を学びだしてから3年目となり、上級生から教わった映像制作やシステム周りの技術を先輩たちが自分自身で消化し、どんどん成長してくれました。そのように頼もしい姿を見て、来年の開催が楽しみだと感じたほどです。

松本さん 1、2年生はお互いに顔を合わせる機会も少ないまま活動を続けてきました。来年は対面でできることを心から願っていますが、来年対面開催に戻ったら、2年連続のオンライン開催で経験していないことばかりできっと苦勞も多いだろうと心配にもなります。

橋本さん 初めてのオンライン開催でとにかくあっという間に過ぎた1年間でした。ずっと準備してきたものがようやく終わった安心感とともに寂しさも感じています。来年以降は、今年多くのことを経験しパワーアップした先輩たちがまたぎつと素敵な大学祭にしてくれると期待しています。

吉田さん 思うように活動ができない中、新たなものを作り上げる難しさに、時に心が折れそうになることもありましたが、多くの人に支えられて着実に歩みを進めるうちに、前向きな気持ちに切り替えることができました。来年以降がどのようなかたちで行われるかはまだわかりませんが、かたちは違っても積み上げてきたものを生かしてさらに「新しい大学祭」を創るチャンスでもあると思います。そして新たなスタートを切る先輩たちが今年以上の大学祭を開催してくれることを楽しみにしています。

第5回 白山祭「繋(つなく)～今こそ手を取り合って～」



白山祭実行委員長
経営学部
経営学科 3年
吉田 直矢さん

今年のテーマは「繋(つなく)～今こそ手を取り合って～」。人となかなか会うことができない今だからこそ明るく手を取り合っていきたい、この白山祭が人々を繋ぐ架け橋になればという願いを込めました。生配信のコンテンツを増やしたり、日比谷花壇様と協力して3D映像が流れるオーナメントをつくり点灯式を行うなど、心に明るく暖かい光を灯すような企画をお届けしました。



MINNIESによるチアリーディング



国際企画留学生トーク

第5回 INIAD-FES「Hello, New Normal!」



INIAD-FES実行委員長
情報連携学部
情報連携学科 3年
松岡 励さん

今年でINIAD-FESは5周年という節目を迎えました。そのテーマは、1年目の「Hello new World」になぞらえて「Hello, New Normal!」。コロナ禍であっても私たちの強みであるIT技術を使って、新しい時代(ニューノーマル)の大学祭を作り上げることを目指しました。プログラミングやITスキルを駆使したサークルの企画展示など、INIADならではの魅力が詰まった大学祭になったと思います。



脱出ゲーム企画



演劇サークルの展示

第1回 WELLB-FES「New Canvas」



WELLB-FES実行委員長
ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科 3年
松本 侑里南さん

キャンパスを赤羽台に移転して初めての大学祭。新たなキャンパスを私たちに色付けて、盛り上げていきたいと「New Canvas」をテーマにしました。お笑いライブや学科紹介動画などに加え、同じキャンパスになったINIAD-FES実行委員会との合同企画も行いました。私たちライフデザイン学部、そして新たな赤羽台キャンパスについて知っていただける大学祭になりました。



ラジオ企画(未成年・青年の主張!!!) 学科紹介



第12回 こもれび祭「コロナでみんな不安よな こもれび動きます」

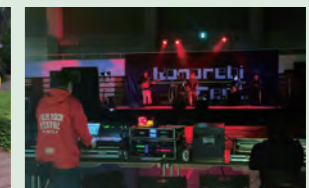


こもれび祭実行委員長
理工学部
建築学科 3年
橋本 成実さん

初のオンライン大学祭のテーマは「コロナでみんな不安よな こもれび動きます」。川越キャンパスもサークルや部活動などに制限がある中で、こもれび祭が先陣を切って新たな活動の在り方を示していきたいという気持ちを込めました。これまで屋外で行っていたライブイベントのステージを体育館内に設営し、周辺への騒音問題も配慮しました。



こもれびーを探せ



軽音楽部によるライブ